

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



教授就任のご挨拶

太田 耕司 大学院医系科学研究科 歯学分野 公衆口腔保健学 教授

- ①香川県
- ②微生物に対する口腔粘膜の免疫防御機構の解明、全身疾患に対する口腔衛生管理のエビデンスの証明
- ③ギター、ラグビー、古典ミステリ
- ④行けばわかるさ

令和元年5月1日付けで杉山 勝教授の後任として、広島大学大学院医系科学研究科 公衆口腔保健学研究室の教授に就任いたしました太田耕司と申します。

私は広島大学歯学部を卒業後、細菌学教室の大学院で、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の耐性機構に関する遺伝子を同定する研究を行い、学位を取得しました。学位取得後は、広島大学病院 口腔顎顔面再建外科で、口腔外科の臨床に携わってきました。基礎医学、臨床医学の2つの教室で様々な恩師の先生方と出会い、研究や臨床を御指導頂くだけでなく、大学人としての考え方や、生き方を学んできたことが、貴重な財産となりました。今後は、教官の先生方、大学院生とともに、口腔疾患や全身疾患の予防、治療に繋がる研究を活性化し、教室を熱く盛り上げていく所存です。微力ではありますが、広島大学の未来に貢献していきたいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



就任のご挨拶

堤 保夫 大学院医系科学研究科 医学分野 麻酔蘇生学 教授

- ①徳島県
- ②周術期管理、心筋虚血再灌流障害
- ③映画・絵画・建築鑑賞
- ④守破離

令和元年6月1日付けで、広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学教室の第4代目教授に就任いたしました。私は、徳島県鳴門市の出身で、1997年に徳島大学を卒業後、同大学麻酔科に入局し、大学病院および関連病院にて麻酔科医として診療・研究・教育に携わってまいりました。

当教室は長らく日本における「悪性高熱症」研究の牽引者として重要な役割を担ってきました。近年、麻酔科医は周術期を中心として急性期医療を専門とする一方、疼痛管理に対する診療関連としてペインクリニックや緩和医療など慢性疾患への取り組みも行っています。そのため、今後はこういった分野においても、独創性に富んだ基礎及び臨床研究に幅広く取り組んでいきたいと考えています。特に若い先生方には、新しくなった元号・麻酔蘇生学教室・大学院医系科学研究科にてAcademic Clinical Anesthesiologistを目指してもらいたいです。若手が自然と集うような生き生きとした教室にしていく所存ですので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。